

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パイオラックス  
 コード番号 5988 URL <https://www.piolax.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 亨 TEL 045-731-1211  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,896	△7.4	1,721	△33.8	1,947	△31.2	1,545	△29.3
2019年3月期第1四半期	17,160	4.0	2,598	△1.0	2,829	0.9	2,186	5.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,893百万円 (110.9%) 2019年3月期第1四半期 897百万円 (△34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	43.15	—
2019年3月期第1四半期	61.05	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	102,729	91,586	87.8
2019年3月期	102,155	90,500	87.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 90,227百万円 2019年3月期 89,142百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	32,600	△5.8	3,800	△28.0	4,300	△25.9	3,000	△30.8	83.76
通期	66,000	△3.4	8,000	△14.1	9,000	△12.8	6,200	△16.5	173.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	39,254,100株	2019年3月期	39,254,100株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,439,373株	2019年3月期	3,439,351株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	35,814,732株	2019年3月期1Q	35,814,754株

(注) 当社は、取締役向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期末平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（前第1四半期連結会計期間 95,693株、当第1四半期連結会計期間 95,693株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(参考資料)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和等により個人消費、雇用情勢が底堅く推移し、景気は全体として緩やかな回復基調にあるものの、米国の保護主義的な通商政策に基づく貿易摩擦、またアジアにおける地政学リスクの高まり等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、海外では北米、欧州、中国など減産が続いている状況ではあるものの、国内では軽自動車の販売が好調だったこと等により、国内生産台数は前年と比較して増加となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に推進いたしました。主に欧米・中国の減産影響を受け、売上高は15,896百万円と、前期比△1,264百万円(△7.4%)の減収となりました。

一方利益面におきましては、より一層の合理化を推進いたしました。減収による限界利益の減少並びに材料費や労務費の高騰による経費負担が増加したこと等により、営業利益は1,721百万円(前期比33.8%減)、経常利益は1,947百万円(前期比31.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,545百万円(前期比29.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (自動車関連等)

米国をはじめ新興国市場等にグローバル拡販を積極的に推進いたしました。主に欧米・中国の減産影響を受け、売上高は14,811百万円(前期比8.5%減)となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進いたしました。主に減収による限界利益の減少並びに材料費や労務費の高騰による経費負担が増加したこと等により、営業利益は1,919百万円(前期比30.6%減)となりました。

#### (医療機器)

拡販を積極的に推進いたしました結果、売上高は1,085百万円(前期比12.0%増)となりました。一方利益面においては、増収効果に加え合理化活動を推進したこと等により、営業利益は63百万円(前期比35.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は、現金及び預金の増加等により573百万円増加し、102,729百万円となりました。負債合計は、引当金等の減少等により511百万円減少し、11,143百万円となりました。純資産合計は、利益剰余金の増加等により1,085百万円増加し、91,586百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年5月9日の「2019年3月期 決算短信」で公表した数値から変更していません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,484	31,345
受取手形及び売掛金	13,096	12,782
電子記録債権	2,071	1,991
有価証券	1,958	2,052
商品及び製品	4,823	5,009
仕掛品	1,693	1,734
原材料及び貯蔵品	1,953	1,864
その他	1,602	1,742
貸倒引当金	△40	△41
流動資産合計	57,644	58,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,978	7,901
機械装置及び運搬具(純額)	7,243	7,555
工具、器具及び備品(純額)	2,066	2,204
土地	5,567	5,569
リース資産(純額)	35	34
建設仮勘定	1,955	1,680
有形固定資産合計	24,847	24,945
無形固定資産		
その他	1,782	1,793
無形固定資産合計	1,782	1,793
投資その他の資産		
投資有価証券	16,476	16,373
その他	1,405	1,135
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	17,881	17,509
固定資産合計	44,511	44,248
資産合計	102,155	102,729

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,128	3,114
未払法人税等	985	341
引当金	882	454
その他	3,893	4,891
流動負債合計	8,890	8,803
固定負債		
引当金	58	66
退職給付に係る負債	234	266
資産除去債務	56	56
その他	2,415	1,950
固定負債合計	2,764	2,340
負債合計	11,654	11,143
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,888	2,888
利益剰余金	85,590	86,328
自己株式	△3,029	△3,029
株主資本合計	88,410	89,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,233	1,061
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	△216	292
退職給付に係る調整累計額	△289	△279
その他の包括利益累計額合計	731	1,079
非支配株主持分	1,358	1,358
純資産合計	90,500	91,586
負債純資産合計	102,155	102,729

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	17,160	15,896
売上原価	11,888	11,536
売上総利益	5,272	4,360
販売費及び一般管理費	2,673	2,639
営業利益	2,598	1,721
営業外収益		
受取利息	32	30
受取配当金	37	37
持分法による投資利益	234	210
その他	23	49
営業外収益合計	327	328
営業外費用		
支払利息	—	0
デリバティブ評価損	33	—
為替差損	43	71
固定資産廃棄損	13	8
賃貸収入原価	1	1
保険解約損	—	17
その他	3	2
営業外費用合計	96	102
経常利益	2,829	1,947
税金等調整前四半期純利益	2,829	1,947
法人税等	627	393
四半期純利益	2,202	1,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,186	1,545

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,202	1,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	△143
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△1,136	450
持分法適用会社に対する持分相当額	△100	32
その他の包括利益合計	△1,304	340
四半期包括利益	897	1,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	952	1,893
非支配株主に係る四半期包括利益	△54	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## ①税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	16,192	968	17,160
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	16,192	968	17,160
セグメント利益	2,767	46	2,814

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,814
全社費用(注)	△222
セグメント間取引消去	8
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	2,598

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	14,811	1,085	15,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,811	1,085	15,896
セグメント利益	1,919	63	1,983

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,983
全社費用(注)	△264
セグメント間取引消去	3
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,721

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	7,755	3,444	4,850	1,111	17,160	—	17,160
(2)セグメント間の内部売上高	1,332	74	387	17	1,812	△1,812	—
計	9,087	3,519	5,237	1,128	18,973	△1,812	17,160
営業利益	1,362	368	732	169	2,632	△34	2,598

II 当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	7,618	3,274	4,204	798	15,896	—	15,896
(2)セグメント間の内部売上高	858	82	334	4	1,279	△1,279	—
計	8,476	3,356	4,538	803	17,175	△1,279	15,896
営業利益	819	421	458	73	1,773	△52	1,721